

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野             | 景気の先行き判断      | 業種・職種   | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----------------|---------------|---|--|
| 家計動向関連<br>(沖縄) | ◎             | コンビニ（副店長）   | ・翌月以降は本格的に政府も経済対策に乗り出し、人流も回復するとみられる。   |
|                | ◎             | 家電量販店（総務担当）   | ・これまでの反動が出てくる。年末はかなり需要が増加すると見込まれる。   |
|                | ○             | 一般小売店〔酒〕（店長）  | ・新型コロナウイルスのワクチン接種率も上がり、今後規制解除に向かう飲食店や、観光客も増えるので期待している。   |
|                | ○             | 百貨店（店舗企画）   | ・年末年始の活動が計画的に執行されれば、期待できる。   |
|                | ○             | スーパー（企画担当）  | ・週末を中心に、郊外の総合スーパーに流れていた客が徐々に戻ってくるものと予測している。  |
|                | ○             | コンビニ（経営者）   | ・年末にかけて景気が上向きになるとみられるので前年より良くなる。   |
|                | ○             | コンビニ（代表者）   | ・緊急事態宣言が解除され少しづつではあるが県民の人流に変化が見られる。様々な行動制限が10月で解除となり来月以降は上昇が見込まれる。   |
|                | ○             | その他飲食〔居酒屋〕（経営者）   | ・全体的には良くなっていくように感じるが、飲食店、特に居酒屋はすぐには入客が戻らない。また、仕入価格の上昇、最低賃金の上昇、求人難、補助金の打ち切り、借金の返済が資金繰りを圧迫するので、よほど体力がないと廃業に追い込まれる店舗が増えそうである。 |
|                | ○             | 旅行代理店（マネージャー）   | ・新型コロナウイルスのワクチン接種率も上がり一定の効果は出ているとみるが、ここで一気にアクセルを踏むとこれまでと同じ状況になりかねないので、段階を踏まえて徐々に解除されてほしい。振出しに戻ることが一番怖い。                    |
|                | ○             | 通信会社（営業担当）  | ・11月以降は飲食店の時短要請もなくなるので自粛モードも弱まり人の動きも活発化し、来客数も増えてくるのではないかと期待している。   |
|                | ○             | 観光名所（職員）  | ・予約数が若干伸びてきている。緊急事態宣言解除により旅行欲求が多くなってきている。  |
|                | ○             | その他サービス〔レンタカー〕（営業）  | ・新型コロナウイルスの新規感染者数の激減に伴う各制限解除の影響により、先行きの予約状況が前々年と比べ悪いなりに伸長している。特に法人需要の回復が著しい状況である。  |
|                | ○             | 住宅販売会社（役員）  | ・人流が活発になれば、それに伴い不動産の流通も活発になる。コロナ禍にもよるが、良い方向に向かうのではないかと期待している。  |
|                | □             | スーパー（販売企画）  | ・新型コロナウイルスのワクチン接種状況や飲み薬開発、また新型コロナウイルス変異株などの発生による極端な新規感染者数の増加等がなければ、景気は現状とそれほど変わらないとみられる。                                   |
|                | □             | 衣料品専門店（経営者）   | ・今月も、依然として新型コロナウイルス対策の自粛モードの影響か、客が少ない状態が続いており、売上が伸びない。景気が悪い状態が続いている。   |
|                | □             | 観光型ホテル（代表取締役）   | ・年末年始の予約も動いていない。   |
| □              | 観光型ホテル（企画担当）  | ・ホテルの今月の販売室数は前年比72%減少なのに対し、今月末時点での1月の予約室数は前年比73%減少とマイナス幅がほぼ同じである。 |  |
| □              | 住宅販売会社（代表取締役） | ・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているが、当面は、良くも悪くもない建築受注状況が続くと予想される。             |  |
| ▲              | －             | －   | －  |
| ×              | 商店街（代表者）      | ・新型コロナウイルスが終息しない限りは、現在不景気である飲食店、物販店全体にいろいろ支障が出るとみられる。             |  |
| 企業動向関連<br>(沖縄) | ◎             | 食料品製造業（役員）  | ・今後年末に向け観光関連及び飲食業務関連への需要増加が期待できる。  |
|                | ◎             | 輸送業（経営企画室）  | ・年末年始の帰省や、観光客が戻ってくることを考えると良くなるとみるが、第6波次第では悪くなる可能性もある。  |
|                | ○             | 建設業（経営者）  | ・契約の見込みが非常に高い新規客の相談が増えてきている。   |
|                | ○             | 広告代理店（営業担当）   | ・県内景気は基幹産業の観光に影響される可能性が高く、今後の新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、現状のまま推移すれば、確実に県内企業の販促活動も活発化するものとみられる。                                     |

|          |   |                 |   |
|----------|---|-----------------|---|
|          | □ | 輸送業（代表者）        | ・宮古島、石垣島の建設関連は、新型コロナウイルス感染が落ち着きつつあり、民間工事では回復つつある。しかし官需部門では、大型公共工事の端境期で落ち込みが大きい。陸上自衛隊関連の工事が本格化する石垣島は、使用する砕石は島内産で砂は海外産が主流なので、内航的に大きな期待はできない。  |
|          | □ | 会計事務所（所長）       | ・衆議院選挙後の社会の状況とそれに対する政策によるが、見通しが立たない。  |
|          | ▲ | 窯業土石業（取締役）      | ・受注は現状で推移するとみられるが、原材料の価格高騰を価格に反映するには厳しく、収益面で影響を受けるとみている。  |
|          | × | —               | —   |
| 雇用<br>関連 | ◎ | —               | —   |
| (沖縄)     | ○ | 人材派遣会社（総務担当）    | ・緊急事態宣言が解除されて人の動きが良くなり、景気も改善していくのではないかと。  |
|          | ○ | 求人情報誌製作会社（営業担当） | ・新型コロナウイルス感染が収束し始めて、観光、飲食、サービス関連の求人も増えてくる。  |
|          | ○ | 職業安定所（職員）       | ・新型コロナウイルス感染の終息がみえて、居酒屋、ホテルなど観光関連の採用活動が少しずつ回復している。  |
|          | ○ | 学校〔大学〕（就職支援担当）  | ・新型コロナウイルスの感染が落ち着いた現状、経済が回るようになり、数か月後には景気の上向きを実感できているとみている。   |
|          | □ | 求人情報誌製作会社（営業）   | ・長く続いた緊急事態宣言により採用活動が抑制されていたため、解除後の反発で急激な求人数増加となっている。3か月後、当月のような急激な増加は見込めないがこのまま微増し続ける希望的観測を持っている。ただし、新型コロナウイルスの感染状況が、現在の縮小、停滞であることが条件であり、もし年末に向けて感染が拡大した場合は、また求人数減少となり悪くなる可能性もある。 |
|          | ▲ | 学校〔専門学校〕（就職担当）  | ・例年、年末年始にかけて企業の採用活動が停滞していくため、求人数も減りおのずと採用数も減少するとみられる。   |
|          | × | —               | —   |